

夢と活力あふれる 元気都市・東大阪

*Higashiosaka, a dynamic city,
full of dreams and energy*

「ラグビーのまち」
「モノづくりのまち」として、
日本全国に知られる東大阪市。
将来都市像「夢と活力あふれる 元気都市・東大阪」の
実現に向け、魅力あるまちづくりを進めています。

Higashiosaka is known as a "City of Rugby" and "City of Manufacturing" throughout Japan, the city keeps developing in order to realize 'the future vision : a "Dynamic city, full of dreams and energy"'.
1

市長からのご挨拶

Greetings from the Mayor

東大阪市長

野田 義和

Mayor of Higashiosaka City
Yoshikazu Noda



昭和42年に布施市・河内市・枚岡市の三市合併により誕生した東大阪市は、現在約50万人の市民が暮らすまちへと発展し、「ラグビーのまち」そして「モノづくりのまち」として広く日本全国に知られる「まち」となりました。

日本最古のラグビー専用グラウンドで全国高等学校ラグビーフットボール大会の開催地でもある東大阪市花園ラグビー場は、日本ラグビーの聖地と呼ばれ、多くのラグビーの憧れの地となっています。その市花園ラグビー場でのラグビーワールドカップ2019™日本大会の開催は、「ラグビーのまち」である本市にとってさらなる発展への大きなチャンスであります。また本市は、世界に誇るオンリーワン、ナンバーワンの技術をもった中小企業が多く集積しており、日本の技術力を支える「モノづくりのまち」でもあります。

ラグビーワールドカップ2019™日本大会を契機に、「ラグビーのまち」、「モノづくりのまち」を中心に市の魅力を日本全国、そして世界へ発信し、東大阪市が市民にとって住みたい「まち」、住み続けたい「まち」となるよう、また多くの方に訪れたい「まち」になるよう、私を先頭に市役所一丸となって取組みを進めてまいります。

Higashiosaka city, formed in 1967 after the merger of three cities of Fuse, Kawachi and Hiraoka, has a population of approximately 500,000, and is well known as a "City of Rugby" and a "City of Manufacturing" throughout the country.

Within the city lies Hanazono Rugby Stadium, where many rugby players dream of one day playing. As the oldest rugby-dedicated stadium in the country and the venue for the National High School Rugby Tournament, it has dubbed a "Mecca" for those who love rugby. That the stadium will host several games during the "Rugby World Cup 2019" offers the city a huge opportunity to develop as a "City of Rugby."

Moreover, the city has industrial clusters of small and medium-sized enterprises that possess world-class, unique and dominant technologies supporting Japan's technological capabilities.

On the occasion of the "Rugby World Cup 2019," I personally ensure that the city government will be united in its effort to promote the city's attractiveness as a "City of Rugby and Manufacturing" to Japan and to the whole world, and also as a city where people wish to visit, live and continue to live.
2

HANAZONO RUGBY STADIUM

Contents

5 中核市・東大阪市
Higashiosaka, a Core City

7 ラグビーのまち
A City of Rugby

11 モノづくりのまち
A City of Manufacturing

13 人を育む歴史と文化
History and Culture that Nurture People

15 歳時記&花暦
Events & Flower Calendar

17 名誉市民
Honorary Citizens

21 市の歴史
The History of the City

23 統計・財政
Higashiosaka in Numbers

25 市議会
City Council

26 市のシンボル
City Symbols



市役所の位置
東経 135°36'3"
北緯 34°40'45"

市の大きさ
東西 11.2km 南北 7.9km
面積 61.78km²

市役所本庁舎22階展望ロビーからの夜景は、一般社団法人夜景観光コンベンションビューローにより日本夜景遺産に認定されています。

中核市・東大阪市

Higashiosaka, a Core City

西に関西の中心である「大阪市」、東は古都「奈良県」があり、自然豊かな生駒山系に抱かれ、都心と緑に囲まれたまち“東大阪市”。「ラグビーのまち」、「モノづくりのまち」としても全国に名を馳せています。大阪府内では、大阪市、堺市に次いで3番目の人口規模を誇り、現在約50万人の市民が暮らす中核市として発展を続けています。

Higashiosaka is surrounded by areas both urban and green, nestled at the foot of the nature-rich Ikoma mountain range. To the west lies Osaka City, which is a hub city in the Kansai region, and to the east lies Nara Prefecture, which was one of the capitals of ancient Japan. Our city is also well known as a "City of rugby and manufacturing."

Higashiosaka is the third largest city in Osaka Prefecture following the cities of Osaka and Sakai, and is still growing and developing as a core city with a population of approximately half a million.



ラグビーのまち

ラグビーの聖地“花園ラグビー場”がある東大阪市は、平成3年に「ラグビーのまち」を表明しています。



こんにちは!
ぼくは、東大阪市のマスコットキャラクター、トライくん。
年末年始、全国高等学校ラグビーフットボール大会が
開催される花園ラグビー場で来場者をお出迎えしたり、
東大阪市のいろんなイベントに参加したりして、「ラグ
ビーのまち東大阪」をPRしてるで!
みんな、東大阪りに遊びに来てな!



モノづくりのまち

日本でも有数の工業都市である東大阪市には、技術力と創造力あふれる中小企業が数多くあります。



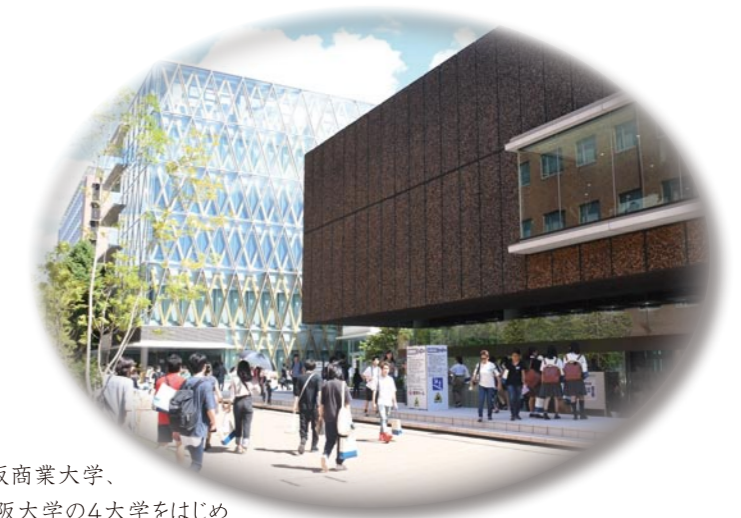
交通の便のよいまち

高速道路や鉄道路線が整備され、京都、神戸、奈良や新大阪、大阪国際空港、関西国際空港へも1時間以内でアクセスでき、関西交通の要になっています。



歴史と自然の豊かなまち

旧石器時代から始まる歴史と、古墳や史跡などの歴史遺産、そして生駒山系の豊かな自然は市民の大切な財産です。



学生のまち

市内には、近畿大学や大阪商業大学、大阪樟蔭女子大学、東大阪大学の4大学をはじめ多くの学校があり、若い力が集まるまちです。

ラグビーのまち東大阪

Higashiosaka, a City of Rugby

花園ラグビー場は、昭和4年に日本で初めてのラグビー専用グラウンドとして完成。現在では、ラグビーを楽しむすべての人の憧れの地となり、聖地“花園”と呼ばれています。平成30年9月には、ラグビーワールドカップ2019™日本大会を迎えるべく改修工事を終え、新しい聖地“花園”が誕生しました。

東大阪は、平成3年3月に「ラグビーのまち東大阪」を表明し、ラグビーのもつ「力強さ・たくましさ」「連帯性・団結力」「友情・すがすがしさ」というイメージを活かしたまちづくりを進めています。

Hanazono Rugby Stadium opened in 1929 as the first rugby-dedicated stadium in Japan. Currently, the stadium is recognized as a sanctuary “Hanazono” for those who love and enjoy rugby. In September 2018, the stadium reopened following significant renovation as a new sanctuary “Hanazono” to host the “Rugby World Cup 2019.” The city proclaimed itself as a “City of Rugby” in March 1991 to promote city development following the images of rugby: Strength/Toughness, Solidarity/Unity and Friendship/Integrity.

History

- 昭和 4年 日本最初のラグビー専用グラウンドとして開場
- 昭和38年 全国高等学校ラグビーフットボール大会が初めて花園ラグビー場で開催
- 平成 4年 メインスタンド鉄傘・練習グラウンド新設など大規模な改修工事が完了
- 平成27年 「近鉄花園ラグビー場」から「東大阪市花園ラグビー場」に名称変更
- 平成30年 ラグビーワールドカップ2019™日本大会開催に向けた大規模な改修工事が完成



全国高等学校ラグビーフットボール大会

全国高等学校ラグビーフットボール大会は、毎年12月末から1月にかけて東大阪市花園ラグビー場で行われます。昭和38年の第42回大会より花園ラグビー場での開催が定着しました。



第84回大会からは「ラグビーのまち東大阪市賞」を創設し、ラグビーボールをかたどった木製（クスノキ）のトロフィーを優勝校へ授与しています。



元日本代表監督
平尾 誠二
©HIROTSUGU OKAMURA

HANAZONO
Excitement Ambassador
感動大使

HANAZONO
Cheer Ambassador
応援大使



東大阪市名誉市民
京都大学 iPS細胞研究所 所長
山中 伸弥

マスターズ花園

2021年に開催される「ワールドマスターズゲームズ2021関西」のレガシー大会として創設したもので、かつて聖地“花園”をめざした高校生ラグーなど、マスターズ世代が再び花園に集う大会として2022年の開催をめざしています。大会のブランド向上と周知拡大を図るため「花園感動大使」に元ラグビー日本代表監督の平尾誠二さんが、「花園応援大使」に東大阪市名誉市民の山中伸弥さんが就任しています。



ラグビーワールドカップ2019™ 日本大会が聖地“花園”で開催

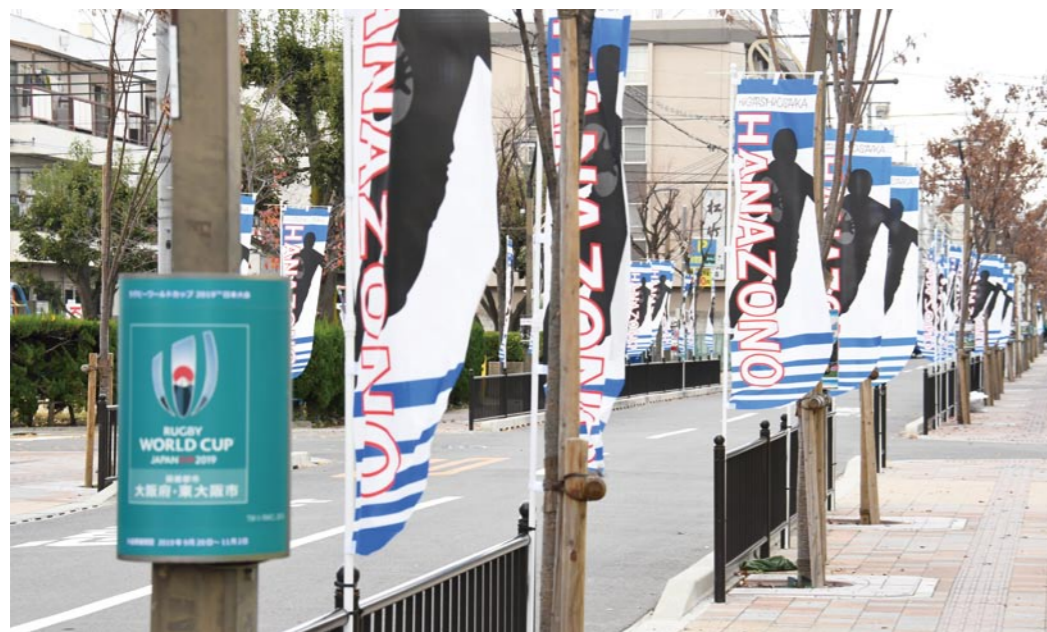
The Rugby World Cup 2019 will be held at Hanazono Rugby Stadium

Higashiosaka and its citizens have worked together to promote the campaign backing Japan to host the Rugby World Cup in 2019. Following the success of winning the bid for the the Rugby World Cup 2019, Hanazono Rugby Stadium was selected to host several top international matches.

市民と一丸となって進めてきたラグビーワールドカップ2019™日本大会の誘致・推進活動が実を結び、東大阪市花園ラグビー場で世界トップレベルの試合が行われる。

平成27年3月2日、ラグビーワールドカップ2019™試合開催会場に東大阪市花園ラグビー場が決定

アイルランドのダブリンで行われた開催都市発表会が市役所で生中継され、「大阪府・東大阪市」と読み上げられると会場は大歓声に包まれました。



ラグビーワールドカップ2019™開催へ機運醸成

東花園駅から東大阪市花園ラグビー場まで続くスクラムロードをラグビーワールドカップ2019™仕様に装飾したり、商店街でもてなしセミナーが開かれたりするなど、市全体でラグビーワールドカップ2019™の成功に向け取り組みました。



世界20チームが熱戦を繰り広げる

ラグビーワールドカップ2015イングランド大会では全48試合の熱戦が繰り広げられ、ニュージーランド代表が2大会連続3回目の優勝を成し遂げました。



大躍進!! ラグビー日本代表

ラグビーワールドカップ2015イングランド大会でプール戦3勝という歴史的な結果を残したラグビー日本代表。開催国として挑む日本大会では、さらなる活躍が期待されます。



TM©RWCL2015

東大阪市花園ラグビー場開催試合

2019年 9月22日(日)

イタリア V ナミビア

9月28日(土)

アルゼンチン V トンガ

10月 3日(木)

ジョージア V フィジー

10月13日(日)

アメリカ V トンガ

モノづくりのまち東大阪

Higashiosaka, a City of Manufacturing

東大阪は、日本を代表する“モノづくりのまち”です。日常の暮らしに欠かせない技術から世界的な最先端技術まで、幅広い技術がこの東大阪には集積しています。

Higashiosaka is recognized as a leading manufacturing city in Japan. The city is home to a wide range of technologies, from the world-class, cutting-edge, to those essential for daily life.



モノづくりの起源

東大阪の中小企業群は、河内木綿、鋳物、伸線業を源に新しい産業の発展に柔軟に対応しながら多種多様なモノづくり企業の集積を形成してきました。



河内木綿

1704年に大和川の付け替え工事によって不要となった池や旧大和川の川床が綿作農業に利用され、河内木綿の一大産地を形成しました。



鋳物工業

2,000年前、大阪の南方から技術が伝わり、中世期には農耕具や鍋、釜などの鋳造が行われました。

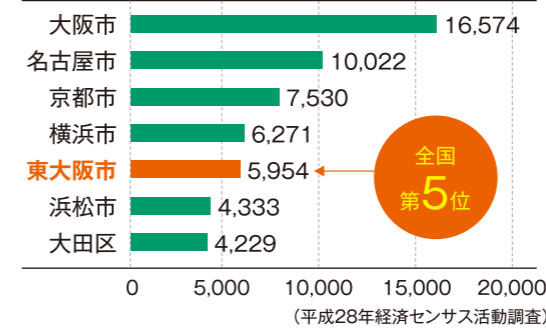


伸線業

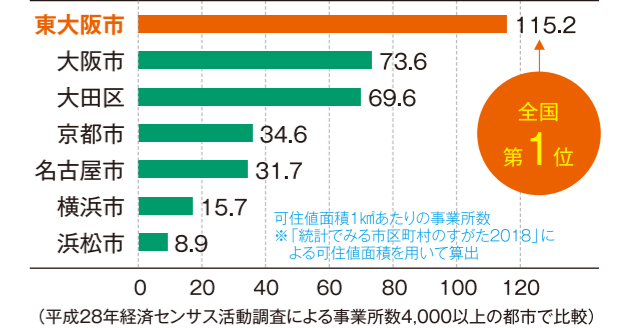
近代、生駒山の河川で水車を利用した動力源により伸線業が盛んになりました。

全国トップのモノづくり企業集積地

全国都市別事業所数



全国主要都市別事業所密度



都市ブランド形成推進事業

ラグビーワールドカップ2019™日本大会の開催を契機に「モノづくりのまち東大阪」としての都市イメージの確立と認知度の向上を図るべく、都市オリジナルのフォント、タグラインや映像などのツールを用いて国内外にPRしています。



医工連携プロジェクト創出事業

大阪大学大学院医学系研究科および医学部附属病院、また同大学大学院歯学研究科および歯学部附属病院と協定を締結するなど、市内企業の高い技術力やネットワークを活かし、健康・医療分野への参入促進を図っています。



デザインプロジェクト

世界的工業デザイナーの喜多俊之氏をデザインクリエイティブアドバイザーとして迎え、市内企業のデザイン力向上に力を入れています。

人を育む歴史と文化

History and Culture that Nurture People

鴻池新田会所

豪商鴻池家が江戸時代に開発した新田の管理・運営を行った施設。江戸時代の建造物と庭園、鴻池家から寄贈された民具類が残されています。本屋、屋敷蔵など建造物の一部は、国の重要文化財に指定されています。



鴻池元町2-30
☎06-6745-6409
●開館時間／10時～16時(入館は15時30分まで)
●休館日／月曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)、祝日の翌日(土・日曜日の場合は開館)、年末年始



旧河澄家

江戸時代に日下村で庄屋を務めた河澄家の屋敷。数寄屋風書院造りの「棲鶴楼」と呼ばれる奥座敷や枯山水庭園など風格ある佇まいを観ることができます。

日下町7-6-39
☎072-984-1640
●開館時間／9時30分～16時30分
●休館日／月曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)、祝日の翌日(土・日曜日の場合は開館)、年末年始

歴史あるまち東大阪は、
貴重な史跡や
偉大な作家の記念館など、
文化に触れることができる
施設が充実しています。

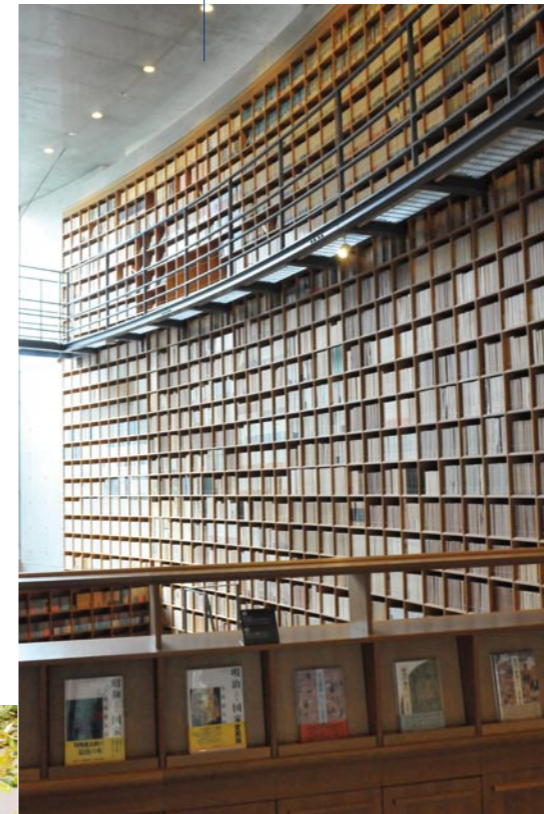
From valuable historical remains to museums dedicated to great writers, Higashiosaka is a city steeped in history, full of places where visitors and residents alike can come into contact with the city's culture.

司馬遼太郎記念館

国民的作家であり、東大阪市の名誉市民でもある司馬遼太郎氏の功績を後世に伝えるため、司馬遼太郎氏の自宅と安藤忠雄氏の設計による建物で構成された記念館。記念館には、当時のままに残された書斎やたくさんの貴重な資料が展示されています。また、司馬遼太郎氏の命日(2月12日)である「菜の花忌」前後には、菜の花が飾られ、シンポジウムや講演会も開かれています。



下小阪3-11-18
☎06-6726-3860
●開館時間／10時～17時(入館は16時30分まで)
●休館日／月曜日(祝日、振替休日の場合は開館し、翌日休館)、年末年始、特別資料整理期間(9月1日～10日)



大阪樟蔭女子大学 田辺聖子文学館

大阪樟蔭女子大学の前身である樟蔭女子専門学校を卒業した田辺聖子氏の偉業をたたえ、大阪樟蔭女子大学が創立90周年記念事業として開館しました。在学中の原稿や思い出の品々とともに文学世界をはじめ、人生や世界観など多様な角度から田辺聖子氏に触れることができます。

菱屋西4-2-26
大阪樟蔭女子大学図書館内
☎06-7506-9334
●開館時間／9時～16時30分
●休館日／日曜日、祝日、大学の休業日



大阪商業大学商業史博物館

近世大阪の商業をテーマにさまざまな歴史資料を収集・調査研究・展示・保管しています。展示資料には、蔵屋敷・両替商・大坂三郷の自治制などに関する古文書のほか、千両箱・大判・小判、河内木綿などの貴重な実物資料もあります。また、近年では大阪画壇の資料も収集し、文化的側面からの研究や展覧会を行っています。

御厨栄町4-1-10
☎06-6785-6139
●開館時間／10時～16時30分
●休館日／日曜日、祝日、創立記念日(2月15日)、年末年始、大学の休業日

歳時記 & 花暦

Events & Flowers Calendar



全国高等学校ラグビーフットボール大会【東大阪市花園ラグビー場】
National High School Rugby Tournament (Hanazono Rugby Stadium)



十日戎【布施戎神社】 Toka-Ebisu Festival (Fuse-Ebisu Shrine)



節分祭【石切劔箭神社】 Setsubun Festival (Ishikiri Tsurugiya Shrine)



秋郷祭【枚岡神社】 Autumn Festival (Hiraoka Shrine)



戸開式【髪切山慈光寺】
To-Ake Ceremony (Jikoji Temple, Mt. Kamikiri)



注連縄掛神事【枚岡神社】 Laughing Ceremony (Hiraoka Shrine)



観桜【市内各所】 Cherry blossoms (throughout the city)

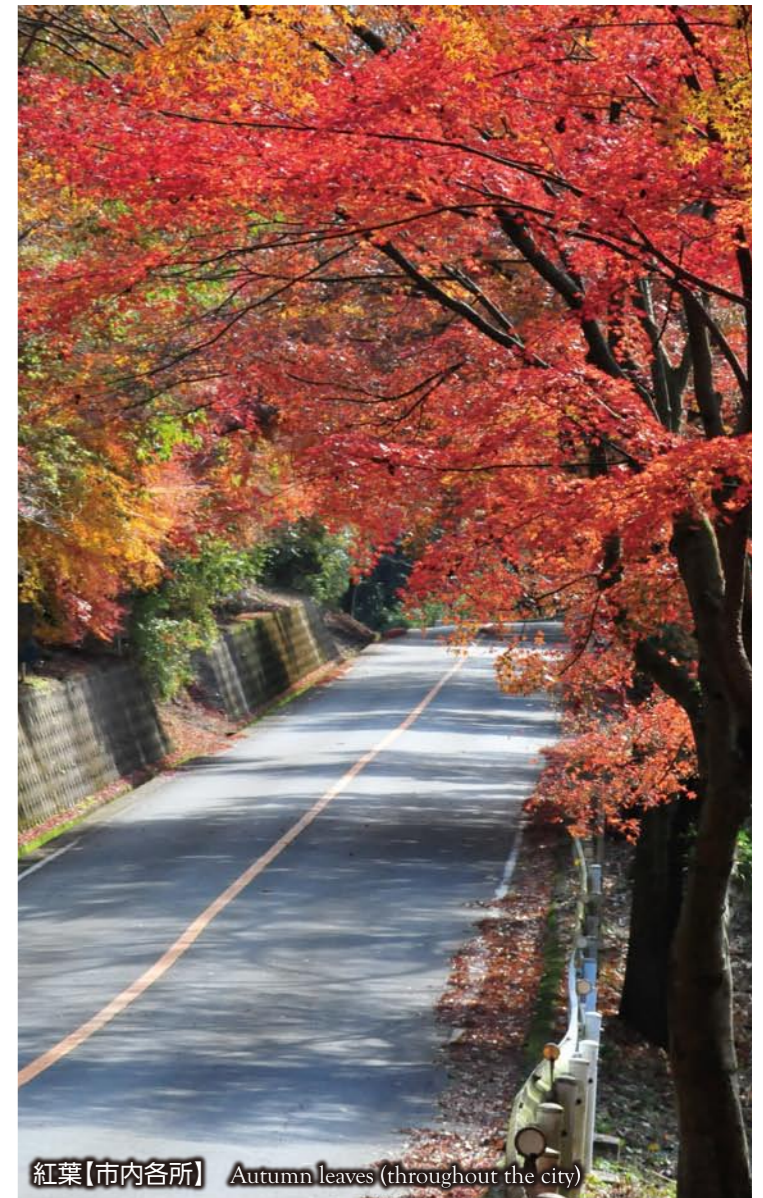


稲田桃【稲田地区】
Inada plums (Inada district)

花暦



菜の花【司馬遼太郎記念館周辺】
Rape blossoms (near the Shiba Ryotaro Memorial Museum)



紅葉【市内各所】 Autumn leaves (throughout the city)



ツツジ【府民の森「なるかわ園地」】
Rhododendrons (Osaka Prefectural Nature Park Narukawa)

歳時記



名誉市民 *Honorary Citizens*

東大阪市民または東大阪に縁故の深い方で、公共の福祉の増進または学術、文芸、産業など広く社会文化の進展に貢献し、その功績が卓絶で、市民の敬愛の的と仰がれる方に名誉市民の称号を贈っています。

A title of "Honorary Citizen" is given to the citizens of Higashiosaka or those deeply related to the city who contributed to the enhancement of public welfare and sociocultural promotion in the fields of academics, literature and industry and others with outstanding achievements, and are respected and admired by the citizens.



塩川 正十郎 氏

[大正10年10月13日～平成27年9月19日]

Masajuro Shiokawa [October 13, 1921 ~ September 19, 2015]

昭和39年旧布施市助役に就任、41年に東大阪三市合併協議会事務局長として本市誕生に貢献されました。また、国会議員として活躍される一方で、運輸・文部・自治・財務大臣、内閣官房長官を歴任。これまで、市政の進展に多大な貢献をされ、平成16年(2004年)5月24日、名誉市民の称号を贈りました。

Masajuro Shiokawa contributed to the formation of Higashiosaka City as a deputy mayor of Fuse City in 1964 and as a secretary general of the Higashiosaka Merger Council in 1966. While playing an active role as a Diet member, he served various posts such as Minister of Transport, Education, Home Affairs, Finance and as Chief Cabinet Secretary. In appreciation of his great contribution to our city, he was granted a title of "Honorary Citizen" in May 24, 2004.



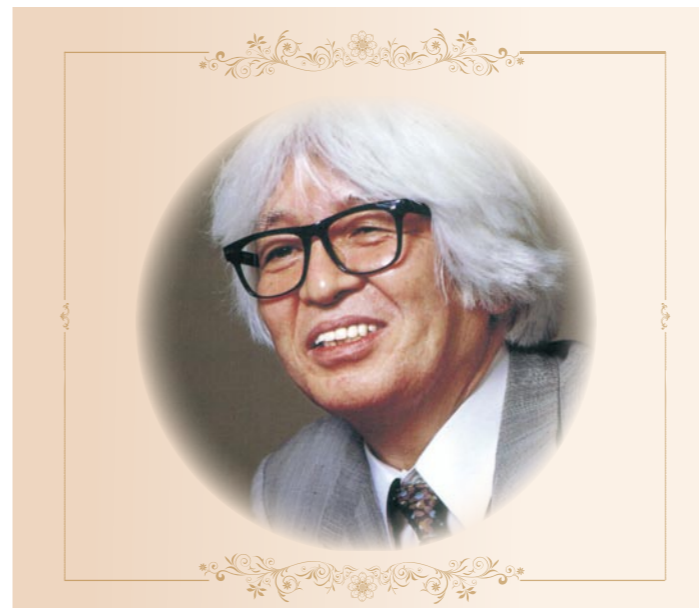
井山 裕太 氏

[平成元年5月24日～]

Yuta Iyama [May 24, 1989 ~]

囲碁界史上初の七冠(棋聖、名人、本因坊、王座、天元、碁聖、十段)同時制覇という偉業を達成されました。七冠独占の快挙は多くの市民、特に青少年に夢と希望を与え、さらには本市の発展に大きく貢献されましたので、平成28年(2016年)8月19日、名誉市民の称号を贈りました。

Yuta Iyama's great achievement was being the first person ever to simultaneously hold all seven major Go titles: Kisei, Meijin, Honinbo, Oza, Tengen, Gosei and Judan. This amazing achievement of monopolizing seven crowns inspired the citizens, especially the young people, and further contributed to the promotion of our city. Thus, he was awarded the title of "Honorary Citizen" on August 19, 2016.



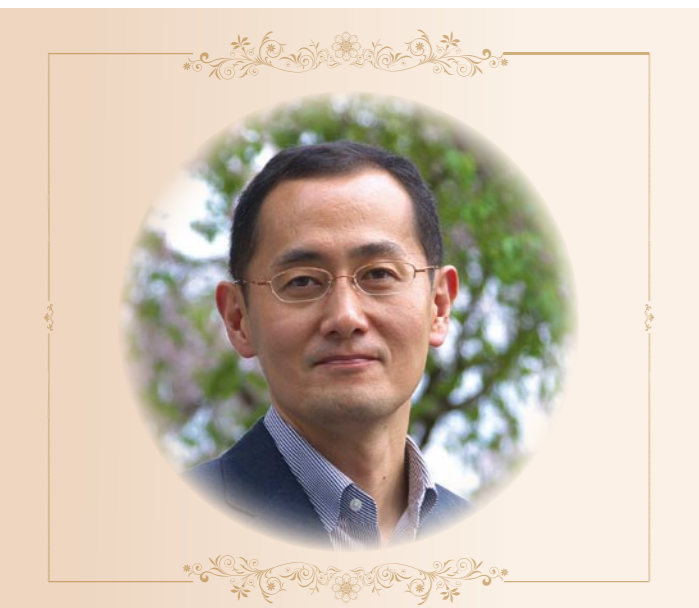
司馬 遠太郎 氏

[大正12年8月7日～平成8年2月12日]

Ryotaro Shiba [August 7, 1923 ~ February 12, 1996]

作家生活の大半を東大阪市内で過ごし、膨大な資料をもとに生き生きとした人物像を描き出した歴史小説群をはじめ、紀行、エッセイ、文明論などをこの地から発表され続けました。各種文学賞や文化勲章などを受賞され、また、幅広い活動により市政にも大いに貢献され、平成8年(1996年)3月4日、名誉市民の称号を贈りました。

Spending most of his life as a writer in Higashiosaka, Ryotaro Shiba published numerous works such as historical novels that vividly portrayed historical figures based on extensive research that took in an enormous amount of materials, as well as travel journals, essays and theories pertaining to civilization. Following various literary prizes and the government's Order of Cultural Merit, he received a title of "Honorary Citizen" on March 4, 1996, for his great contribution to our city through his wide variety of activities.



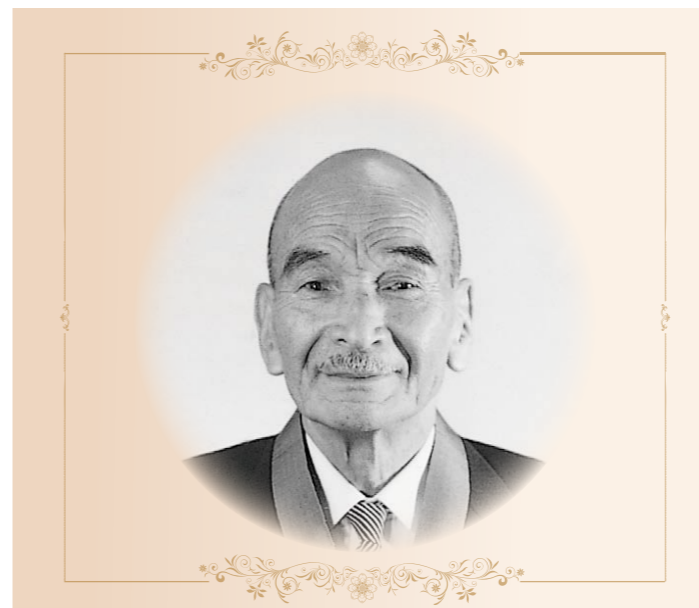
山中 伸弥 氏

[昭和37年9月4日～]

Shinya Yamanaka [September 4, 1962 ~]

小学校3年生までを東大阪市内で過ごされ、あらゆる細胞に分化する能力があるiPS細胞の作製に世界で初めて成功し、平成24年12月にノーベル生理学・医学賞を受賞されました。この業績は、全世界に夢と希望を与えるものであり、さらには本市の発展に大きく寄与されましたので、平成25年(2013年)7月1日、名誉市民の称号を贈りました。

Born and raised in Higashiosaka until the 3rd grade of elementary school. In December 2012, Dr. Yamanaka was awarded the Nobel Prize in Physiology or Medicine for his successful creation, for the first time in the world, of iPS cells that are capable of developing into any cell type. In recognition of his great achievement that gives dream and hope to the whole world, and his great contribution to our city, Higashiosaka bestowed a title of "Honorary Citizen" on him on July 1, 2013.



上野 義雄 氏

[明治27年4月11日～昭和53年8月26日]

Yoshio Ueno [April 11, 1894 ~ August 26, 1978]

東大阪三市合併促進連盟会長、総合計画審議会会長、社会福祉協議会会長などの要職を歴任され、市政の発展と社会福祉の向上に大きく寄与されました。また、商工会議所会頭、東大阪信用金庫理事長なども務められ、本市産業の振興に多大な貢献をされました。昭和44年(1969年)9月27日、初の名誉市民の称号を贈りました。

The first title of "Honorary Citizen" was granted to Yoshio Ueno in September 27, 1969. Ueno made a significant contribution to the growth of our city and improvement of social welfare as a chairman of the Higashiosaka Merger Promotion Federation, Comprehensive City Planning Commission and Social Welfare Council. He also played an important role in the progress of Higashiosaka's industries as a chairman of the Chamber of Commerce and Industry and of Higashiosaka Shinkin Bank.

インタビュー

Special Interview

くさか 孔舎衛東小学校・くさか 孔舎衛中学校で学び、
囲碁界で数々の記録を更新し、
国民栄誉賞を受賞された井山裕太さん。
東大阪市での思い出や
今後の目標などについてお聞きしました。

After studying at Kusaka-higashi Elementary School, and then Kusaka Junior High School, Yuta Iyama would go on to set a series of records in the world of Go, and received the "People's Honour Award".
Iyama was kind enough to share with us his memories of growing up in Higashiosaka and his plans for the future.



囲碁をはじめたきっかけを教えてください。

最初は父が自分で遊ぶために囲碁のテレビゲームを買ってきたのですが、父が遊んでいるのを隣で見ているのが興味をもったのがきっかけです。

小・中学校時代はどんな子どもでしたか？

囲碁をやっている以外はどこにでもいる普通の子供だったと思います。囲碁漬けの毎日ではなく、学校から帰ったらすぐ外に友達と遊びに行ったり、囲碁以外のテレビゲームを楽しんだりしていました。家の近くにある丹波神社で友達とボール遊びをしたことは今でもよく覚えています。

小・中学校時代で覚えていることなどはありますか？

マンガの「ヒカル碁」が始まったときに、私が囲碁をやっていることをみんなが知っていたので、休み時間に教えてくれないと言われることが増えて、すごく嬉しかったです。また、小学校6年生でプロ入りが決まった時には、クラスみんながお祝いに寄せ書きのようなものをくれて一緒に喜んでくれたことなどを覚えています。



昨年、東大阪で『井山杯 新春囲碁フェスティバル』が開催されていますが、いかがですか？

たまにですが、友人に会うために東大阪には帰ってきており、やはり落ち着くというか、懐かしいというか。その自分が生まれ育ったこの東大阪で、一番好きな囲碁のイベントを開催できることはこの上ない喜びです。これだけファンの方との距離が近いイベントは多くはなく、すごく貴重な場ですし、このイベントをきっかけにさらに囲碁に親しんでもらえるようにしていければと思っています。

井山さんが感じる囲碁の魅力とは何でしょうか？

囲碁の大きな魅力は、年齢差とか男女差、言語の違いや、国による差などに関係なく碁盤の上ではだれでも分け隔てなく対等に楽しめることです。もう一つは、囲碁のゲーム性自体が、ルールのにも覚えることが少なく、ものすごくシンプルなこと。非常に縛りが少なく基本的にはどこへ打ってもよいので、自分のやりたいようにやれる、そういうところは大きな魅力ですし、いろいろな方に体験していただきたいと思っています。

国民栄誉賞を受賞された感想をお聞かせください。

国民栄誉賞をいただけるとは想像したこともありませんでしたので、驚きが一番でした。ただ、私個人というより、囲碁界の長い歴史や、今まで先人の方たちによって受け継がれてきたものなど、いろいろな背景が評価されたのかなと思っています。すごく名誉なことだと思いました。

井山さんのこれからの夢や目標は？

今年で30歳になりますが、自分の囲碁は完成しているわけではないですし、まだまだレベルアップしていける可能性はいろいろありますので、悔いのないようにやるべきことをやって、少しずつでも前進していきたいと強く思っています。その結果、世界でいい戦いができるように、どこかで大きな結果が残せるように、というのが棋士としての目標です。

もう一つは、囲碁フェスティバルなどのようなイベントでいろいろな方に囲碁のおもしろさを伝えていくことも棋士としての大きな役割だと思っています。

ラグビーワールドカップ花園開催への期待や思いをお聞かせください。

世界トップレベルのプレーを身近に感じられ、観戦できる大きな機会ですので、東大阪市にとってもすごく名誉なことだと思います。

自分も9歳のときに中国で囲碁の対局を行った経験があれば、それほど世界を意識することはなかったのですが、実際にそういう場を体験したことは、その後の棋士人生や人生観にとっても大きなプラスになりました。子どもたちにとっても、世界レベルのプレーを実際に見られるということは、視野を広げる意味でも大きなチャンスだと思います。

私自身も親戚や近い存在でラグビーをやっている人がいて、ラグビーはすごく身近に感じているので、タイミングが合えば、ぜひ花園で観戦してみたいです。

市民のみなさんへメッセージをお願いします。

東大阪はこれからラグビーワールドカップをはじめ、いろいろな形でどんどん盛り上がっていくと思いますし、そうなることを願っています。東大阪で生まれ育った自分としてもみなさんに喜んでいただけるような戦いを続けていけたらと思っています。今後ともご支援のほど、よろしくお願いいたします。



井山裕太氏
Yuta Iyama

- 平成元年(1989) 東大阪に生まれる
- 平成7年(1996) 孔舎衛東小学校へ入学
- 平成9年(1998) 少年少女囲碁大会で小学校2年生ながら全国優勝
- 平成14年(2002) 孔舎衛東小学校を卒業
- 平成17年(2005) 孔舎衛中学校へ入学
- 平成17年(2005) 孔舎衛中学校を卒業
- 平成17年(2005) 入段を果たし、プロ棋士となる
- 平成21年(2009) 20歳4か月で七大タイトルの1つである「名人」を奪取し、史上最年少名人となる
- 平成24年(2012) 23歳5か月で史上最年少五冠達成
- 平成25年(2013) 七大タイトルランドスラム達成(七大棋戦全獲得経験)
- 平成28年(2016) 囲碁界史上初の七冠同時制覇(棋聖・名人・本因坊・王座・天元・碁聖・十段)を達成
- 平成29年(2017) 囲碁界史上2度目となる七冠同時制覇を達成
- 平成30年(2018) 囲碁界初となる国民栄誉賞を受賞
- 歴代最多となる七大タイトル獲得数「43期」を達成

市の歴史

The History of the City

生駒山から河内平野の市域で見つかる遺跡は131か所あり、旧石器時代から人々が市内に集落を営んでいたことがわかります。また、戦国時代には織田信長が度々訪れるなど、争乱の場になっていました。明治時代になると、河内国は河内県、堺県などに変わった後、大阪府となります。明治22年には、約80の村が19に統合され、河内・若江・澁川の3郡も明治29年に中河内郡へと統合されます。その後、昭和12年に布施市、昭和30年には枚岡市・河内市が誕生しました。昭和42年2月1日に3市が合併して現在の東大阪市になりました。

Over the city area, from Mt. Ikoma through the Kawachi plains, 131 archaeological sites have been found, indicating that there have been communities here since the Paleolithic Age. As the frequent visits by Nobunaga Oda suggest, this area was a place of conflict during the warring states period. In the Meiji era, Kawachi Province became Osaka Prefecture via name changes to Kawachi Prefecture and Sakai Prefecture. In 1889, nearly 80 villages in this area were integrated into 19 villages, and later the three counties of Kawachi, Wakae and Shibukawa were also merged into the district of Nakagawachi in 1896. Fuse City, formed in 1937, and Hiraoka City and Kawachi City, both formed in 1955, were incorporated as City of Higashiosaka on February 1, 1967.

昭和42年(1967) 2月 布施市・河内市・枚岡市の3市が合併して東大阪市が誕生
4月 市民会館が完成

昭和60年(1985) 11月 平和都市宣言と青少年健全育成都市宣言を行う

平成13年(2001) 11月 司馬遼太郎記念館がオープン

平成25年(2013) 7月 山中伸弥氏に名誉市民の称号を贈る

昭和44年(1969) 7月 市の人口が50万人に
9月 上野義雄氏に初の名誉市民の称号を贈る

昭和61年(1986) 10月 長田～生駒間を結ぶ近鉄東大阪線が開通

平成15年(2003) 3月 総合庁舎が竣工
4月 男女共同参画センター「イコラム」がオープン
5月 総合庁舎へ移転、新庁舎にて業務を開始

平成26年(2014) 9月 近鉄奈良線 八戸ノ里～瓢箪山間高架化工事が完成

昭和45年(1970) 3月 府道築港枚岡線が開通

平成3年(1991) 3月 「ラグビーのまち」を表明

平成16年(2004) 2月 東京で初の産業展「もうかりメッセ東大阪」を開催
5月 塩川正十郎氏に名誉市民の称号を贈る

平成27年(2015) 3月 ラグビーワールドカップ2019™日本大会の試合開催会場に花園ラグビー場選出
4月 東大阪市花園ラグビー場として供用開始

昭和47年(1972) 12月 郷土博物館が完成

平成4年(1992) 5月 市のマスコットキャラクター「トライくん」が誕生
6月 花園図書館がオープン

平成17年(2005) 1月 全国高等学校ラグビーフットボール大会に「ラグビーのまち東大阪市賞」を創設
4月 中核市に移行
11月 キキョウ・フェスタで市イメージングを初披露

平成28年(2016) 8月 井山裕太氏に名誉市民の称号を贈る
10月 市立総合病院が市立東大阪医療センターへ移行

昭和49年(1974) 1月 水道局庁舎が完成

平成5年(1993) 4月 7か所の行政サービスセンターで窓口業務がスタート

平成18年(2006) 4月 花園中央公園野球場「花園セントラルスタジアム」がオープン
全国初の「消費者憲章」を制定

平成29年(2017) 2月 市制施行50周年記念式典を開催
4月 市立障害児者支援センター「レビラ」がオープン

昭和50年(1975) 11月 第1回市民会議を開催

平成7年(1995) 4月 総合体育館「東大阪アリーナ」がオープン

平成20年(2008) 4月 消防総合庁舎及び防災学習センターがオープン

平成30年(2018) 9月 東大阪市花園ラグビー場の改修工事が完了

昭和51年(1976) 3月 近畿自動車道が東大阪市まで開通

平成8年(1996) 3月 2月に亡くなった司馬遼太郎氏に名誉市民の称号を贈る

平成21年(2009) 1月 人工衛星「まいど1号」打ち上げ成功
10月 歌手の中村美津子さんを観光大使に任命

平成31年(2019) 3月 JRおおさか東線が新大阪駅まで開通

昭和52年(1977) 6月 近鉄布施駅周辺の高架化工事が完了
7月 東大阪まつりを開催
11月 市民文化祭を開催

平成9年(1997) 4月 第二阪奈有料道路が開通
5月 第1回全国中小企業都市サミットを東大阪で開催
8月 花園中央公園多目的球技広場が完成
9月 国史跡・重要文化財鴻池新田会所の一般公開が始まる
11月 市民美術センターがオープン

平成22年(2010) 5月 近鉄奈良線奈良方面行き高架化工事が完成
6月 クールビズにあわせ市職員がラグーシャツ着用開始

昭和53年(1978) 5月 第1回市民ふれあい祭を開催

平成10年(1998) 5月 市立総合病院がオープン

平成23年(2011) 1月 東大阪カラーバン会発足
9月 ご当地ナンバープレート交付開始

昭和58年(1983) 4月 枚岡・布施保健所が府から移管され、東・西保健所となる

平成12年(2000) 11月 総合庁舎の建設が始まる

昭和59年(1984) 4月 中保健所がオープン
5月 消費生活センター・中小企業指導センターがオープン



統計

面積・位置

面積	61.78km ²
最東 山手町 東経	135°40'54"
最西 足代一丁目 東経	135°33'35"
最南 大蓮東四丁目 北緯	34°37'44"
最北 加納六丁目 北緯	34°42'04"

土地利用状況 (平成27年10月1日現在)

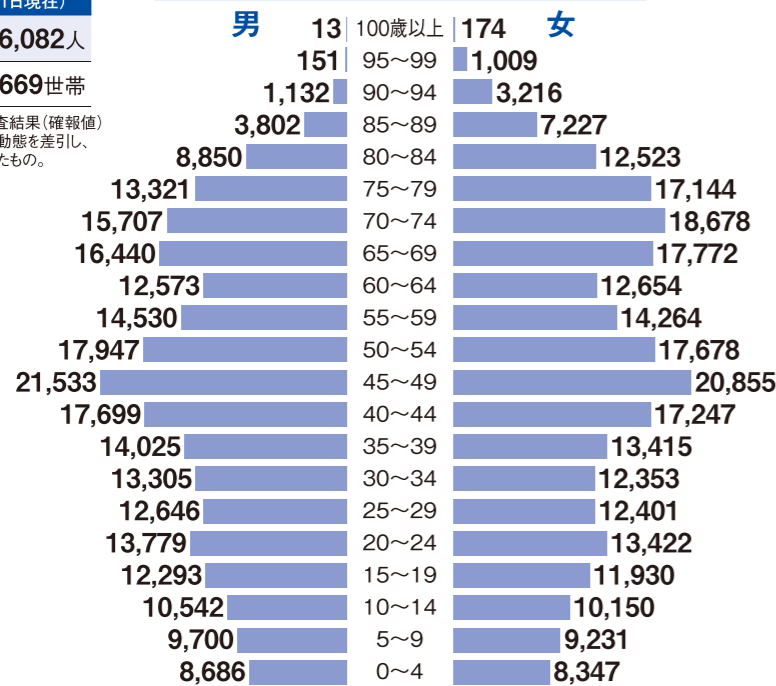
区分	(ha)	構成比(%)	区分	(ha)	構成比(%)	区分	(ha)	構成比(%)
総数	6178.0	100.0	普通緑地	427.6	6.9	山林	1060.9	17.2
市街地	4062.7	65.8	公園・緑地	178.4	2.9	水面	46.1	0.7
一般市街地	2629.7	42.6	社寺敷地・公開庭園	24.7	0.4	低湿地・荒蕪地	2.0	0.0
商業業務地	428.5	6.9	学校	211.7	3.4	公共施設	85.4	1.4
工業地	1004.5	16.3	墓地	12.8	0.2	道路・鉄道	249.1	4.0
集落地	—	—	農地	220.3	3.6	その他の空地	23.9	0.4
			田・休耕地	134.8	2.2			
			畑	85.5	1.4			

推計人口

(平成30年10月1日現在)
人口総数 496,082人
世帯数 227,669世帯

※平成27年国勢調査結果(推報値)を基に毎月の人口動態を差引し、本市独自に算出したもの。

年齢男女別人口構成 (平成30年9月30日現在)



注1) 住民基本台帳による。
注2) 住民基本台帳法の改正(平成24年7月9日施行)により住民基本台帳人口に外国人を含む。

人口・世帯数の推移 (各年10月1日現在)

年	人口			世帯数
	総数	男	女	
大正9年	57,667	29,065	28,602	12,210
昭和5年	102,889	52,436	50,453	22,989
15年	193,050	98,946	94,104	42,112
25年	230,861	113,560	117,301	52,711
35年	318,001	160,781	157,220	76,535
45年	500,173	253,725	246,448	145,950
55年	521,558	261,810	259,748	170,672
平成2年	518,319	257,262	261,057	181,248
12年	515,094	254,331	260,763	203,392
22年	509,533	249,964	259,569	217,762
27年	502,784	246,053	256,731	223,485

注1) 国勢調査による。
注2) 大正9年から昭和35年までの人口は、合併前の旧市町村の区域の合計値であり、一部境界変更による調整はしていない。

社会福祉施設 (平成29年3月31日現在)

助産施設	3	養護老人ホーム	1
母子生活支援施設	1	老人センター	6
児童養護施設	5	特別養護老人ホーム	25
知的障害児施設	0	軽費老人ホーム(ケアハウス含む)	8
福祉型児童発達支援センター	1	身体障害者福祉センター	3
医療型児童発達支援センター	1	障害者入所施設	2
児童館	2	生活介護	41
救護施設	1	就労継続支援	72

学校園 (平成29年5月1日現在)

大学	4
短期大学	2
高等学校	14
中学校	27
小学校	52
特別支援学校	2
専修学校	5
各種学校	5

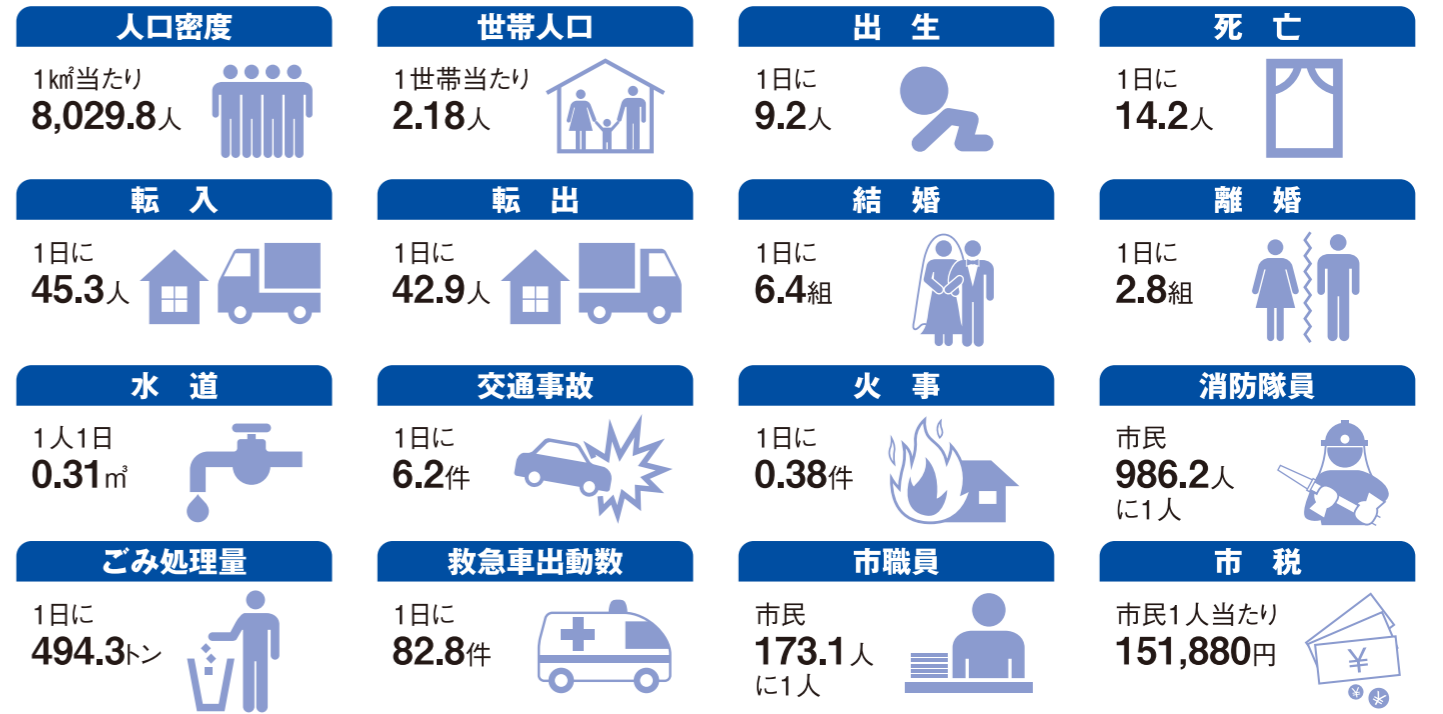
※大学・短期大学の通信教育は含まない。

文化財 (平成29年10月31日現在)

文化財保護法による指定	4
文化財保護法による登録	25
府条例指定	28
市条例指定	84
市規則指定	3

医療施設 (平成28年10月1日現在)

区分	施設数	病床数
病院	23	4,502
一般診療所	412	76
歯科診療所	299	—



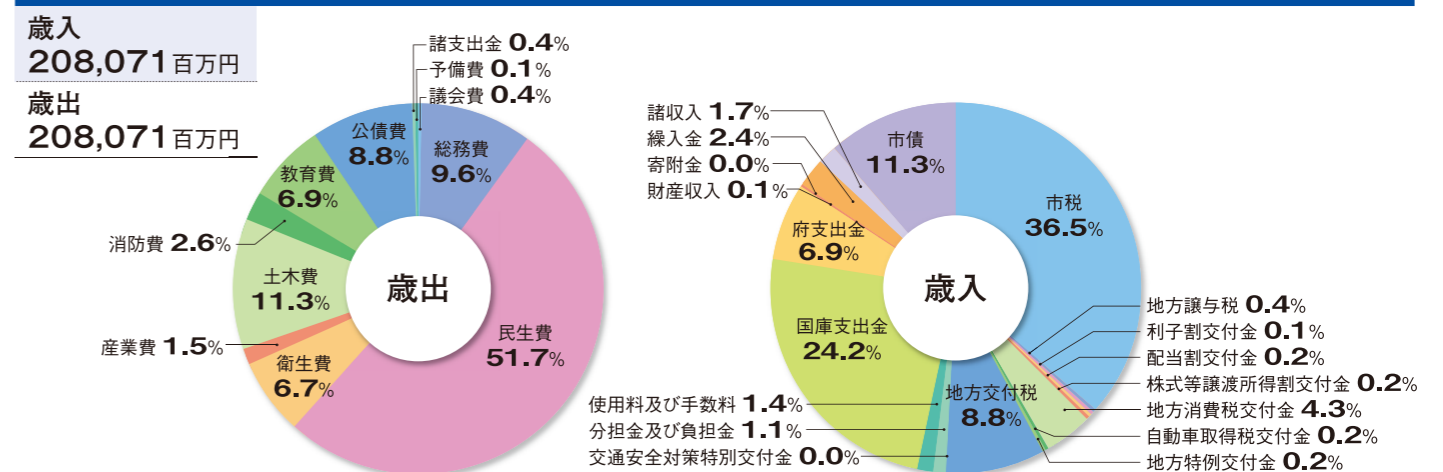
財政

平成30年度当初予算

当初歳出予算

一般会計		特別会計	
一般会計	208,071百万円	国民健康保険事業	57,030百万円
企業会計		奨学事業	47百万円
水道事業	13,653百万円	財産区管理	39百万円
下水道事業	31,622百万円	公共用地先行取得事業	1,086百万円
		交通災害共済事業	30百万円
		火災共済事業	24百万円
		介護保険事業	45,625百万円
		母子父子寡婦福祉資金貸付事業	72百万円
		後期高齢者医療	11,326百万円
		病院事業債管理	3,916百万円

一般会計当初予算





市民の代表 市議会

市議会は、選挙で選ばれた市議会議員(定数38人)で構成されています。市民の代表者である議員は、予算や条例などを審議・決定し、市政の方向を示す役割を担っています。議会は、3月、6月、9月、12月の年4回の定例会と、必要に応じて臨時会が開かれます。また議会内部の審査機関として、常任委員会と特別委員会を設け、市行政をより専門的に調査・審議しています。

Higashiosaka City Council, representing the city's residents

Higashiosaka City Council consists of 38 elected council members. Each council member represents the citizens, and is committed to playing the role of directing the city administration by discussing and determining the city budget, local ordinances and other issues. There are four regular ordinary sessions a year, held in March, June, September and December, as well as extraordinary sessions held as necessary. Standing committees and special committees are established under the council's jurisdiction to efficiently investigate and examine various issues in regards to the city administration from experts' points of view.



市章

東大阪市の頭文字「ひ」の字を図案化し、平和と希望の象徴である鳩の姿であらわしたものです。はばたく鳩のイメージは「豊かな住みよいまち」をめざし、躍動するわたしたちのまちの輝かしい未来を示しています。

市の木【クスノキ】

常緑高木。非常に寿命が長く、大木となります。現在も市内に多く生育しており、石切劔箭神社のクスノキは市の天然記念物に指定しています。



市の花【ウメ】

落葉高木。早春、ほかの花に先がけて香りのよい花が咲き、多くの人々に愛されています。

市民の花【キキョウ】

野山に自生している宿根草で「秋の七草」にも数えられ、誰もが手軽に育てることができます。毎年、夏から秋にかけて青紫色の可憐な花を咲かせます。



東大阪市市歌

作詞 上出 満 作曲 外山 雄三

- みどりのいぶき さわやかな
生駒の峯を 朝夕に
仰いであげむ わが都市(まち)は
三つの力 よせあって
心ひとつに そだつ都市
若い希望が もえている
東大阪市 のびゆく郷土
- 文化のかおり 空にみち
商工の幸 地にあふる
河内平野の わが都市は
歴史を今に 新しい
夢をもとめて 進む都市
実り豊かに あふれる
東大阪市 花咲く郷土
- 西になにわの あかね空
東にのびる 生駒 信貴
理想も高く わが都市は
自治と平和の 鐘ひびく
とわの栄えを 招く都市
若いこだまも よんでいる
東大阪市 栄光(はえ)ある郷土

東大阪市イメージソング

「東大阪 めっちゃ元気な『まち』やねん」

作詞 南 英市 作曲 つんく

- このまち元気な まちやねん
めっちゃ楽しい まちやねん
まいど1号 宇宙へどんと
ちから合わせて 打ち上げる
夢と期待と 意気がある
東大阪 そやよって
みんなホンマに 好きやねん
みんながんばる まちやねん やねん
- このまち元気な まちやねん
めっちゃ明るい まちやねん
若いラガーの 声さえどんと
心わくわく はずませて
風もきらめく 四季がある
東大阪 そやよって
みんなホンマに 好きやねん
みんながんばる まちやねん やねん
- このまち元気な まちやねん
めっちゃ嬉しい まちやねん
河内気質の ど根性どんと
込めて自慢の モノづくり
繁盛新たな 明日がある
東大阪 そやよって
みんなホンマに 好きやねん
みんながんばる まちやねん やねん

表紙の「HIGASHIOSAKA CITY GUIDE」の文字は、東大阪市内モノづくり企業の特徴である企業同士のつながりや、東大阪で生まれる部品がつながることで様々な部品となり、世界をつなげていることをイメージしたオリジナルのフォントです。

The HIGASHIOSAKA CITY GUIDE logo is written in an original font that symbolizes Higashiosaka's connections with the rest of the world, just as manufacturing companies within the city are connected to one another, or as the components they create interconnect to produce new forms.



東大阪市勢要覧2019

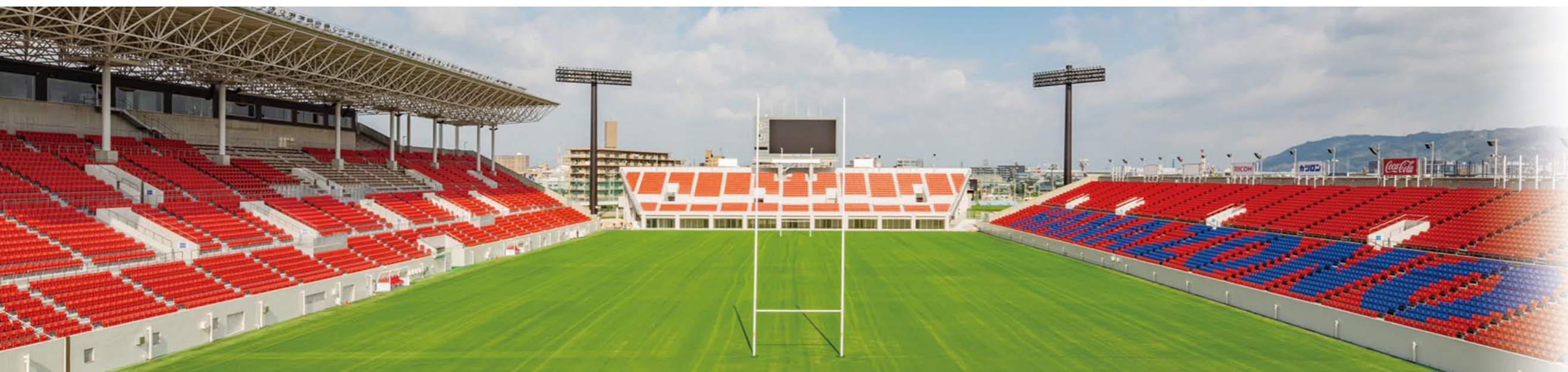
発行:平成31年(2019年)3月 東大阪市
〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目1番1号
TEL:06-4309-3000(代)

<http://www.city.higashiosaka.lg.jp/>

HIGASHIOSAKA

CITY GUIDE

Higashiosaka City Guide



 東大阪市